

南地域まちづくり かわら版

11月10日(土) 南児童センターまつりに参加しました



子どもにやさしい地域づくりを目指し、今年も南児童センターまつりにわたがしと工作コーナー（紙飛行機と牛乳パックで作るブーメラン）で子ども達と交流をしました。わたがしコーナーでは、大きなわたがしを作ろうと一所懸命、棒を回す微笑ましい姿がみられました。

工作コーナーでは、紙飛行機やブーメランにおもしろおもしろの色や絵を描き、自分だけの作品を作ってもらいました。

ふれあいまつり2018 11月3日(土)

今年度のふれあいまつりで南地域自治組織が初めてブースを出展しました。

防災に関するクイズや、かわら版で掲載している“南地域のたからもの”クイズを通して南地域自治組織の活動などを皆さんにお伝えしました。

ぜひ、今回学んだ防災や南地域のたからものについて、ご家族で話し合ってみてください。



★ 防災クイズ ★

ふれあいまつりで間違えた方が多かった問題を掲載します。皆さんも挑戦してみてください。

（問題 1）料理中に地震が発生しました。まずとるべき行動は？

- ① 火を消す
- ② テーブルの下に潜る

（問題 2）自宅から避難する時にならずとるべき行動は？

- ① ガスの元栓をしめる
- ② ブレーカーを落とす

答えは裏面へ

『あいさつで 犯罪フロック 地域の輪』

(平成30年度南小学校児童優秀作品)

朝晩だけでなく、日中も寒くなってきました。

ストーブなどの暖房器具を使い始めている方もいるかと思います。正しい使用を心がけ、火災には十分お気をつけください。

地域の安全はあいさつを交わすことから始めることが作ることが出来ます。すれ違う時はお互いあいさつをして、地域の輪を広げていきましょう。



南地域のたからもの vol.15 ～八王子社～

大口町健康文化センター（ほほえみプラザ）のすぐ南にある神社、ここは伝右の八王子社です。今から約400年前、現在の江南市安良からこの地へ移り住んで新田開発をした人がいました。その人の名前が伝右エ門さん。

そして新田開発によってできた村の名前が「伝右エ門新田」と呼ばれるようになり、現在の地名＝伝右の由来となっています。

八王子社の社伝によると、その伝右エ門さんが元和9年（1623）、安良にある八王子社の神様を移してこの地の氏神としたのが始まりとされています。

大口町健康文化センターに行ってみた際、ちょっと時間がありましたら、八王子社へぜひ足を運んでみてください。



答え

(問題1) ②

慌てて火を消そうとコンロに近づくと熱くなった調理器具やお湯などが飛び、怪我をする恐れがあります。

現在は、震度5程度以上であれば都市ガスやプロパンは遮断される仕組みです。まずは自分の身を守りましょう。

(問題2) ②

ブレーカーが入ったままだと、通電が再開した際、ショートした配線や地震前に使用していた電気ストーブやアイロンの電源が切れていない場合、発火の原因となる恐れがあります。ガスについては、マイコンメーターで制御されているので必ずしなければならぬ行動ではありません。